

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

近年全国的に頻発している災害について、子供たちが家族とともに必要な知識を得るとともに、一人一人が防災意識を高め、もしもという場合の対応方法を実践することにより、災害時の行動について考えを深める。

2. 事業の概要

（1）期日

令和元年9月28日（土）～29日（日）1泊2日

（2）参加者

① 募集対象・人数

小学生を含む家族・グループ（1グループ2人以上）6団体30人程度

② 参加人数

8団体25人

（3）講師等

① 講義・演習1「防災と災害への対策」

講師：諏訪 清二 氏（防災学習アドバイザー・コラボレーター）

（4）企画・運営のポイント

- ① 広報する際、吉備中央町と当所周辺の地域の小学校を中心に広報活動を行った。
- ② 防災の専門家を招聘し、防災への心構えや必要な知識を習得できる活動を取り入れた。
- ③ 防災について必要な技術や知識を習得するために、講義だけでなく演習を取り入れ、体験を通して技能の習得を図った。
- ④ 宿泊では、避難所での生活を少しでも体感できるように、参加者全員が同じ部屋で、段ボールベッドを組み立てて就寝する活動を取り入れた。
- ⑤ 当所で防災グッズを揃えるとともに、参加者で家に備えている防災グッズを持ってきていただき、防災グッズを選んで、その理由を発表する時間を取り入れ、参加者が防災意識を高めるような活動を行った。

3. 活動の内容等

(1) 日程

9月28日(土)		9月29日(日)	
13:30	受付	6:15	起床・洗面・清掃
14:00	開会式	7:15	朝のつどい
14:30	①講義・演習 「防災と災害への対策」	7:30	④野外炊事 「災害時のレシピ」
16:00	②野外炊事 「炊き出し・災害時非常食クッキング」	9:00	⑤防災グッズの活用体験 「救助法・避難グッズの活用など」
18:30	③ベッドメイキング「段ボールベッド作り&防災カードゲーム」	11:00	閉会式
21:00	入浴		
22:00	就寝		

(2) 活動の状況



【①講義・演習「防災と災害への対策」⑦】



【①講義・演習「防災と災害への対策」④】



【②野外炊事
「炊き出し・災害時非常食クッキング」⑦】



【②野外炊事
「炊き出し・災害時非常食クッキング」④】



【③ベッドメイキング
「段ボールベッド例&防災カードゲーム」㉗】



【③ベッドメイキング
「段ボールベッド&防災カードゲーム」㉘】



【④野外炊事「災害時のレシピ」㉗】



【④野外炊事「災害時のレシピ」㉘】



【⑤「防災グッズの活用体験」㉗】



【⑤「防災グッズの活用体験」㉘】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：100%

(2) 参加者の声

- ① 逃げるだけでなく、家を安全な場所にしようと思う。
- ② 日常生活の中で工夫できることも多いのではないかと気づいた。
- ③ 広い場所で寝る（知らない人と）違和感があった。

- ④ 子供と一緒に体験できることは、なかなかないのでよい機会となった。
- ⑤ 子供自身ができることを見つけ、誰とでも協力する努力をしていた。
- ⑥ 家とは勝手が違うし、不便を体験することもあったが、子供が本人なりに体験しようとする姿が見られた。
- ⑦ 諏訪先生の講義は、わかりやすく子供も印象に残った様子でした。
- ⑧ 防災に今まで以上に興味を持ち、自分の身に起こり得るものとしてとらえられた。
- ⑨ 現在準備している防災グッズに、是非つけ足したい物が見つかった。
- ⑩ 段ボールがいかに寝にくいのか、大勢で生活することの意味を実感できました。

(3) 成果

- ① 諏訪先生の講義も含め、家族や皆で防災について考える時間が多く、一人一人の防災意識を高めることができた。
- ② 非常食クッキングでは、お米をポリエチレン袋に入れて炊いて作ったことにより、災害時に実用できる体験となった。
- ③ 防災グッズの使用や避難所の生活を実体験することにより、防災のグッズの有り難さや災害時の生活の不便さなど体感をすることができた。

(4) 今後の課題

- ① 全国で頻発している自然災害に、関心が高いことがわかった。そこで参加対象や防災キャンプの目的をしっかりと定め、対象にあった意義のある内容を工夫していくことが必要である。
- ② 防災に関しての取組は、色々な形があるので、当所ならではの体験ができる内容を考えるとともに、地域のニーズにあった企画を検討する必要がある。
- ③ 防災に関して、私たち職員も研修に努める必要がある。

担当：企画指導専門職 西山 一之進